

第6期 北方町ワイガヤ議会 中間報告書

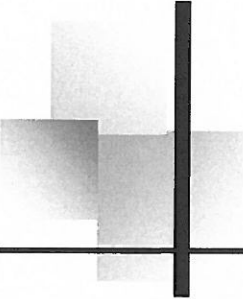
平成29年12月

北方町

目次

グループからの報告

グループ1	2
グループ2	16
グループ3	32



グループ1

ワイガヤ議会 第1グループ

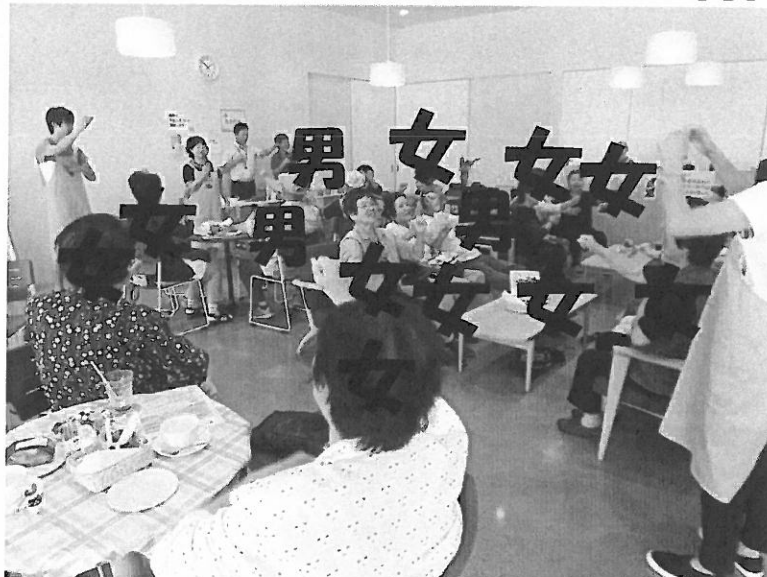
そうだ
ホッと・カフェ
行こう。

ホッと・カフェ



先ほどの写真を見てあることに
気づきませんでしたか？

ホッと・カフェに参加する方々の特徴

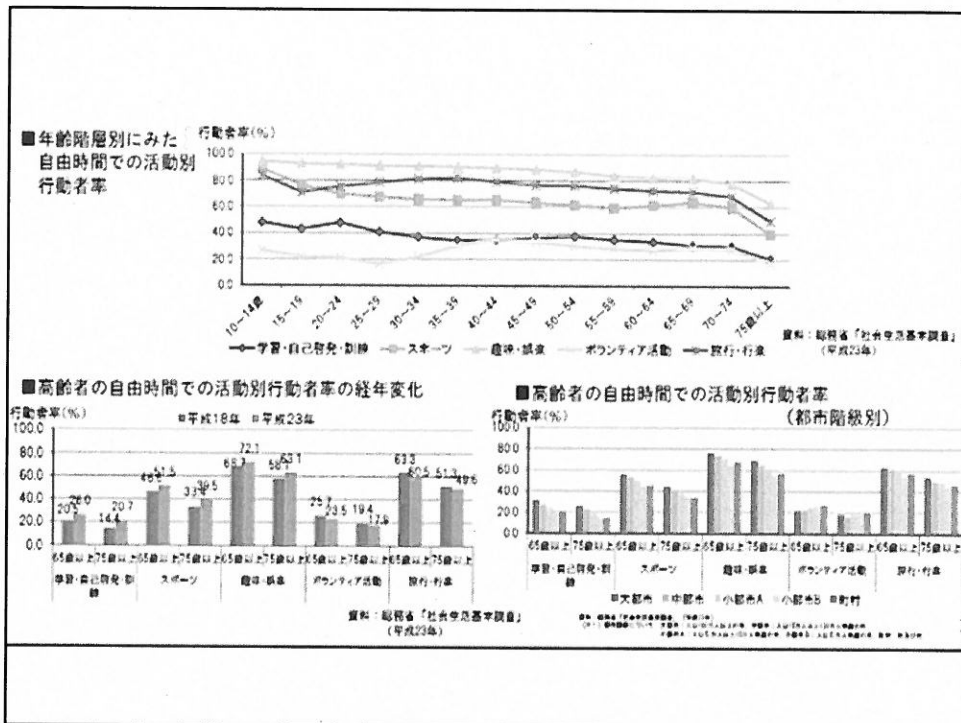


ホッと・カフェに参加する方々の特徴

- ホッと・カフェの参加者を見てみると参加者がいても男性参加者が少ない
- 男性参加者はいつも顔ぶれが同じ

目次

- 各種調査や統計から見る高齢者の生活、外出特性について
- 心理学観点から見る高齢男性の傾向
- 男性を呼び込むホッと・カフェ企画案！

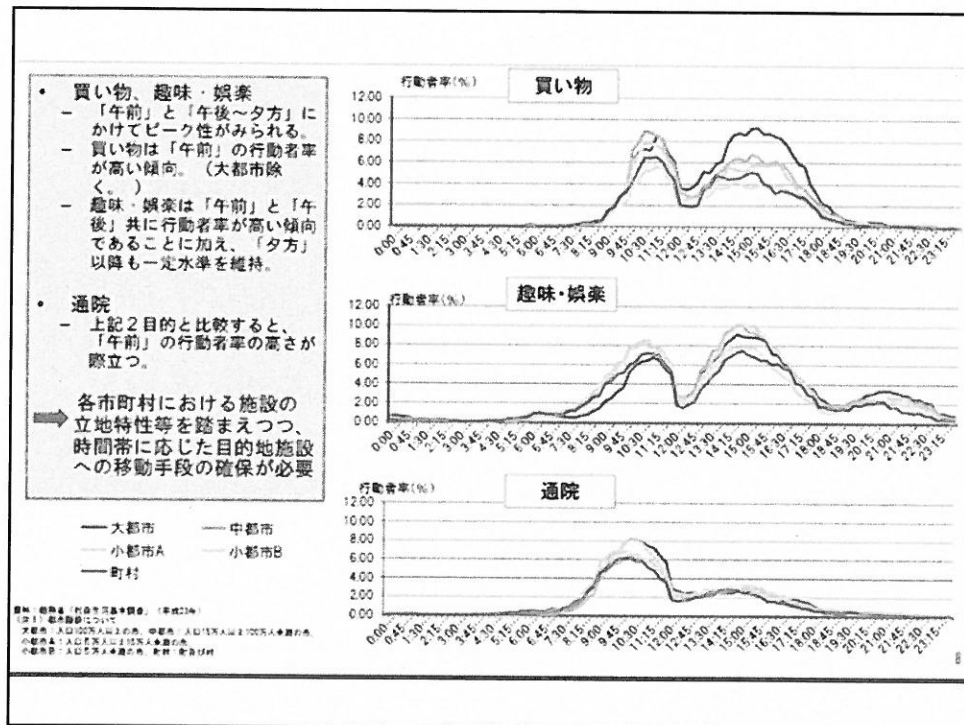


高齢者の生活・外出特性について

- ・「学習・自己啓発・訓練」や「スポーツ」を行う人が増加傾向
- ・「趣味・娯楽」「旅行・行楽」が多いが、若年層・中年層に比べると行動者率が低下

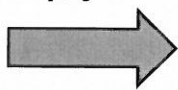


多様化する高齢者の活動への対応が必要

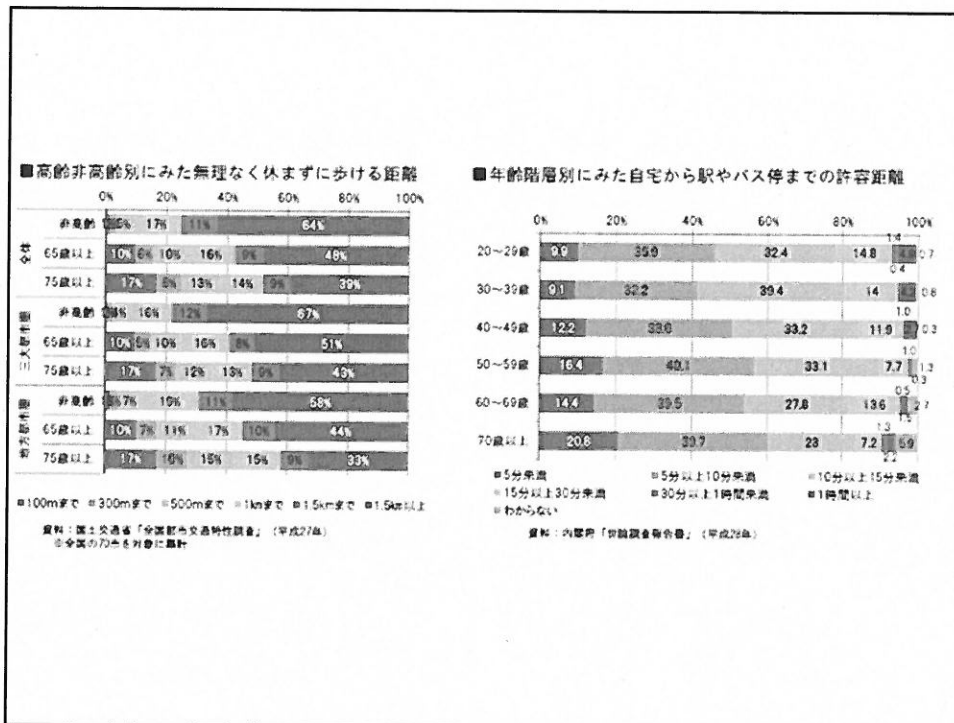


高齢者の生活・外出特性について

- 「午前」「午後～夕方」にかけてピーク性がみられる
- 買い物は「午前」の行動者率が高い
- 通院においても「午前」の行動者率が高い



**施設の立地特性等を踏まえ、
 時間帯に応じた目的地施設への
 移動手段の確保が必要**



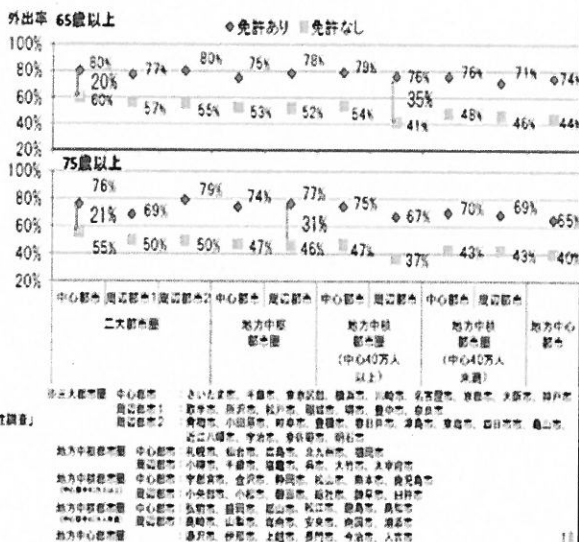
高齢者の生活・外出特性について

- 無理なく休まずに歩ける距離が100mまでとする人は高齢者の1割
- 自宅から駅やバス停までの許容距離として5分未満であるという人が2割



高齢者の徒歩可能距離を考慮した、インフラ整備が必要

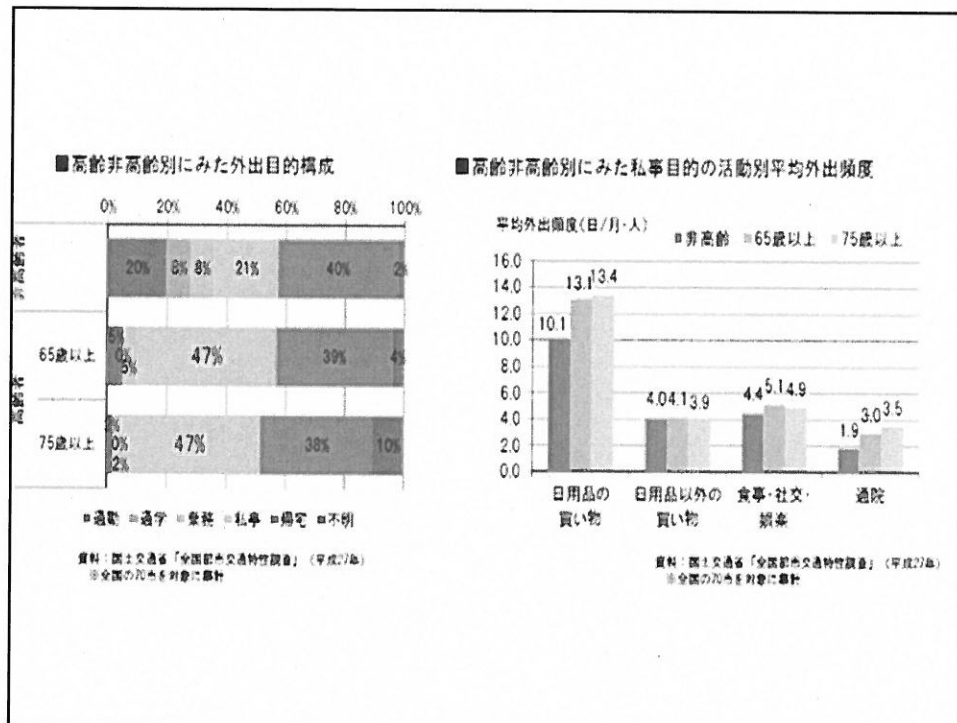
■高齢者の免許有無別・居住都市別にみた外出率



- 免許を持つ人より免許を持たない人のほうが外出率が20%～30%低い



免許の有無が外出の支障とならないよう、移動手段の確保が必要

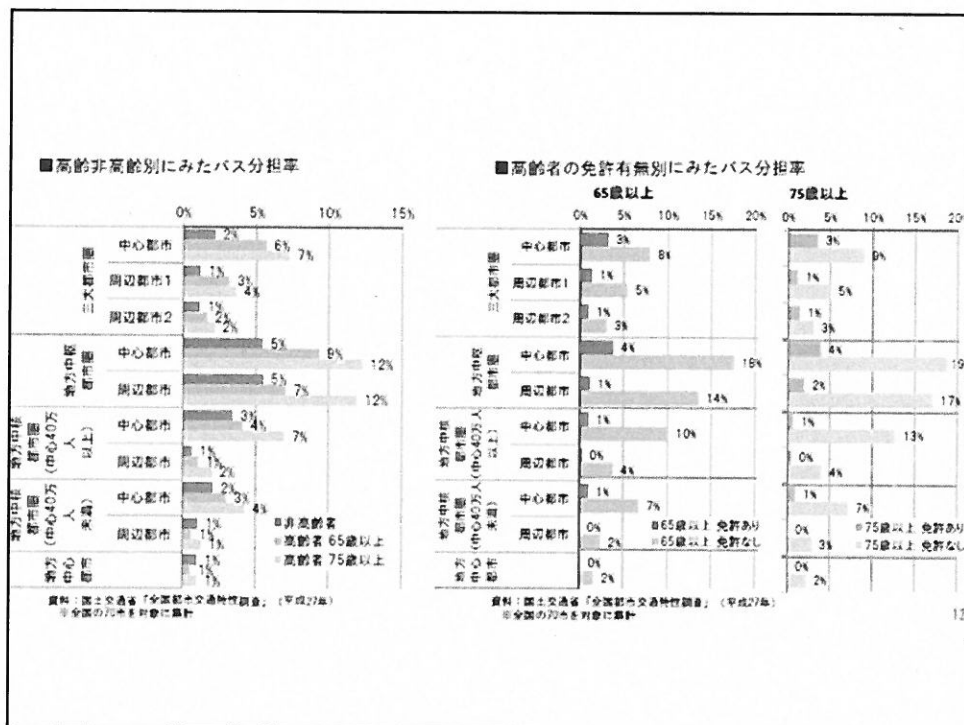


高齢者の生活・外出特性について

- ・ プライベート(私事)での外出比率が高い
- ・ 外出頻度で見ると、「日用品の買い物」「食事・社交・娯楽」の頻度が高い一方、「通院」は月3回程度に留まる

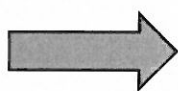


需要に対応した交通網が必要



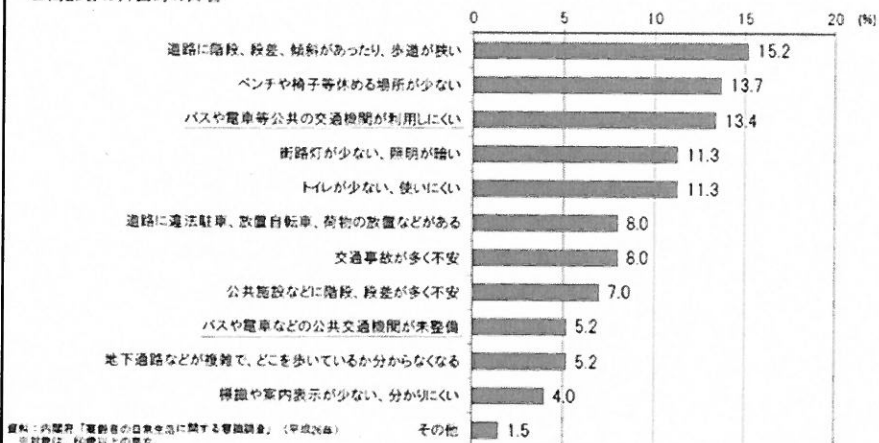
高齢者の生活・外出特性について

- ・若年層・中年層に比べ、バス分担率が高い傾向にある
- ・免許を持つ人より、持たない人の方がバス分担率が高い



バスが、地域の公共交通機関として、高齢者に生活の足を提供

■高齢者の外出時の障害

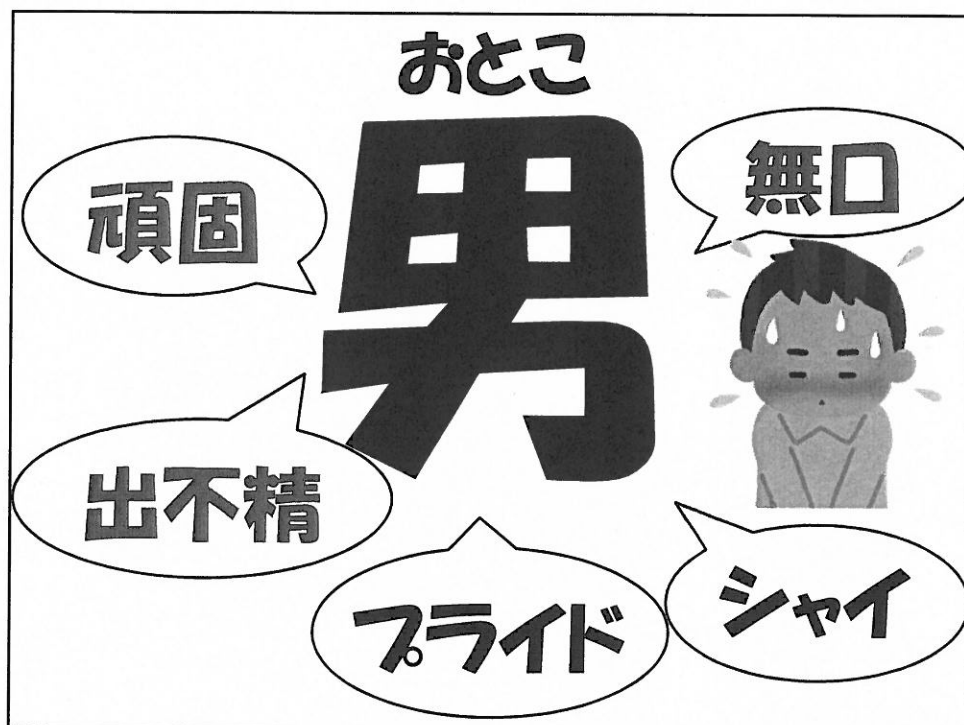


高齢者の生活・外出特性について

- ・ 高齢者の外出時の障害として、段差や傾斜・歩道の狭さといった環境を指摘する人が最多
- ・ 休憩場所やトイレの不足、分かりづらい表示を指摘する声も散見



公共交通機関における利便性への指摘も踏まえ、更なる環境整備に取り組む必要



心理学的観点から見る 高齢男性の傾向

- 会合の内容で行く気が増す
 - ⇒ 弁当やお酒は重要
 - ⇒ 講師は女性がいい
 - ⇒ 何か目的が必要
- 会合での男性比率・存在の重要性
同年代で少人数の会合がいい



ホッと・カフェの企画案！

女子大生と

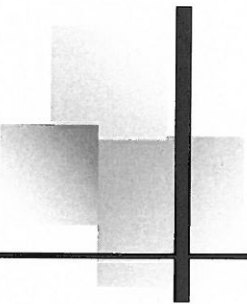
- 利き酒大会
- お菓子の試食会（フランボワーズ）
- お菓子づくり、料理教室
- 豚汁、ご飯の炊き出し
- My酒、しょうゆ作り



今後の方向性

- 北方町役場つどいの広場を使用して男性限定のホッと・カフェを試験的に開始する
- 初回実施から半年間、統計をとる
- 楽しんでもらい、また来たいと思ってもらうことが大事

**ご清聴いただき
ありがとうございました**



グループ2

ワイガヤ議会 中間報告 グループ2

リーダー	古田	幹樹	松葉	智絵
	伊藤	太一	安江	未裕
	汲田	明子	横山	菜未
	小森	哲朗	吉田	未紗希

発表の流れ

1. グループのテーマ
2. グループの提案

グループ2のテーマ

**「町民同士の交流が増える
方法を考えよう！」**

テーマの理由

町をよりよくするには？町を盛り上げるには？



町民同士がつながりあい、活躍できる場が必要

話し合いのポイント

**「横のつながりだけでなく
縦のつながりを意識しよう」**

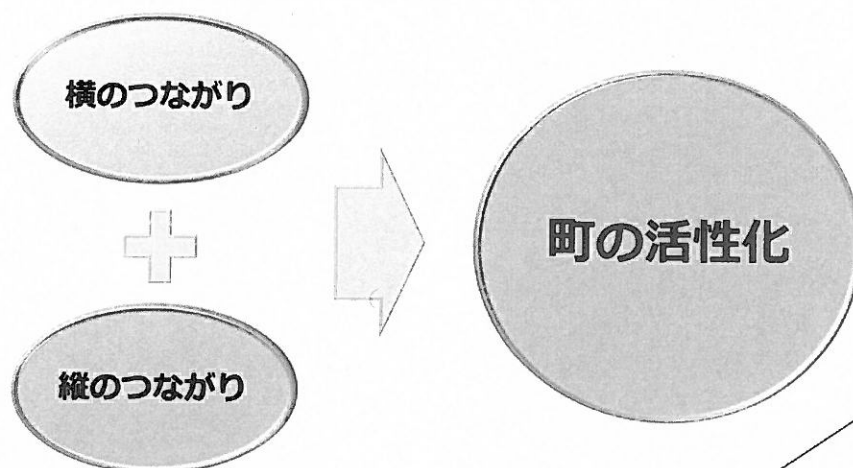
ポイントの理由

北方町は同世代が集まる横のつながりは豊富



これからは、世代を越えた縦のつながりが必要

私たちのビジョン



発表の流れ

1. グループのテーマ
2. **グループの提案**

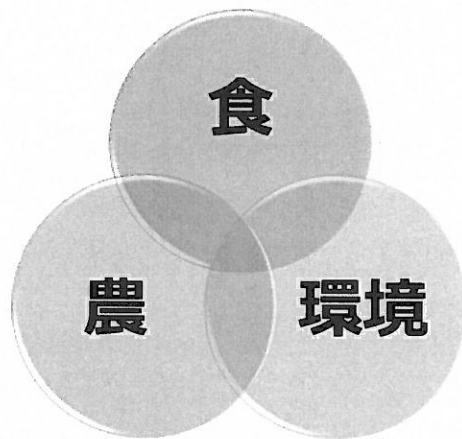
提案の分類

1. イベント系
2. 日常系
3. その他

グループ 2 の提案①

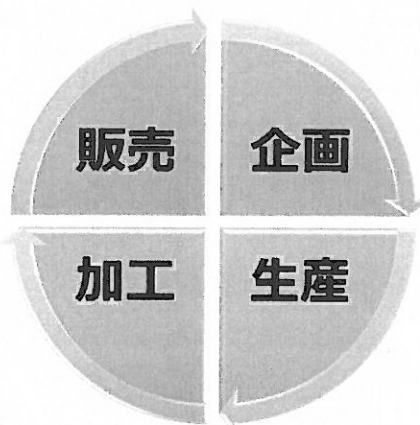
「農林高校とのコラボ企画」

岐阜農林高校の特徴①



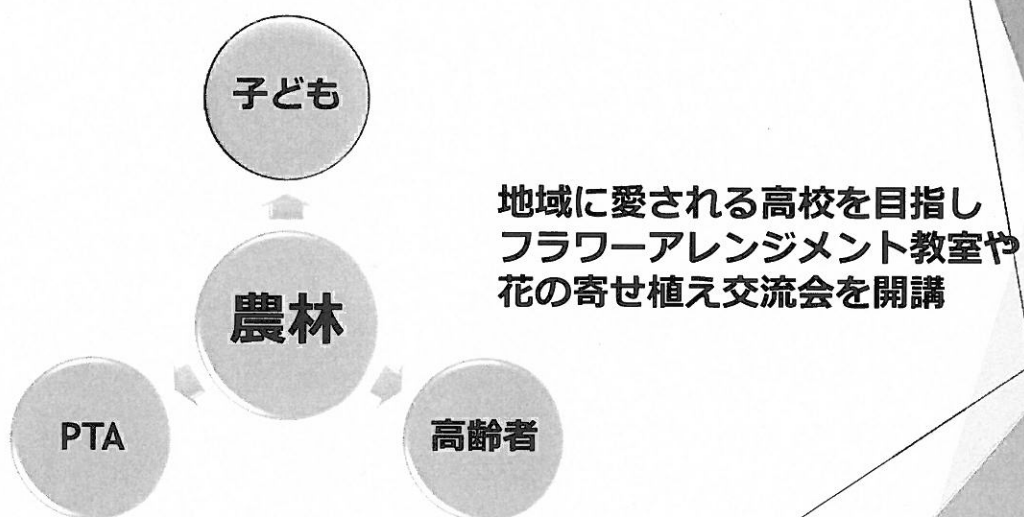
「食」「農」「環境」の未来を担う
スペシャリストを育成するための
7つの学科とカリキュラム

岐阜農林高校の特徴②



学生が商品の販売まで行う実習により
高い創造力・実践力を持つ学生を育成

岐阜農林高校の特徴③



グループ2の提案①

「農林高校とのコラボ企画」

- 町制130周年記念の商品や
パッケージの作成を依頼
- 町のイベントの中心的存在として
積極的な参加を依頼

グループ 2 の提案②

「町民主体の町の緑化イベント」

- ボランティアを企業からも集う
- 岐阜農林高校生が指導に当たる

グループ 2 の提案③

「耕作放棄地を利用したイベント」

- 希望者に手入れが簡単な作物を育て、
収穫し、食べてもらう
- 岐阜農林高校生や農家の方が
指導に当たる

グループ2の提案④

「町民主体でのひまわり畑の復活」

- 提案②と同じやり方
- 町民が愛する風景の一つとなる
- 農林高校の演劇部が劇を企画

グループ2の提案⑤

「北方町にまつわる芸術作品 コンテスト」

- 北方町の良いところを見つける
きっかけになる
- 作品を北方町の製作物に使用する
ことでオリジナリティが出る

グループ 2 の提案⑥

「町のイベントにアクセントを」

- カラオケやコスプレを取り入れ
楽しみ方を増やす
- 参加することでメリットが
あるようにする

提案の分類

1. イベント系
2. 日常系
3. その他

グループ2の提案⑦

「地域の方による教育活動」

- 学校や公民館に地域の講師が出向き、
希望者に運動や芸術、昔の遊びを教える
- 北方町の歴史に関しては特別授業を行い、
学生に北方町や歴史そのものに興味を持ってもらう

グループ2の提案⑧

「外国人のコミュニティ形成促進」

- 施設などを貸し出して、定期的に
集まれるようにする
- コミュニティにより町民との交流や
情報伝達もスムーズに

グループ2の提案⑨

「地域の交流場所で講座を開講」

- 利用する人数や頻度が高まり
町のコミュニケーションが活発になる

グループ2の提案⑩

「商店街での演奏者を募集」

- 音楽の力によって商店街を盛り上げ
若い人を引き付ける商店街にする

提案の流れ

1. イベント系
2. 日常系
3. その他

グループ2の提案⑪

「婚活イベントの実施」

→ イベントでカップルが成立し
結婚した場合の特典も用意

グループ 2 の提案⑫

「北方町のPVを作成」

→YouTubeに北方町の風景や
イベントなどをまとめた
動画を投稿し町をPRする

グループ 2 の提案⑬

「移住者向けパンフレットを作成」

→北方町に移り住んできた方に
インタビューを行い、それを
もとに作成し、ネットに掲載

グループ 2 の提案⑭

「ふるさと納税の充実化」

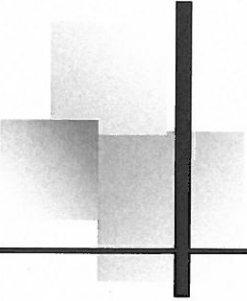
- 様々な企業と連携し魅力的な返礼品を生み出す
- 岐阜農林高校も新商品を企画中

ご清聴ありがとうございました！



北方町

KITAGATA TOWN
GIFU, JAPAN



グループ3

北方町ワイガヤ議会グループ3 中間報告

リーダー	平野 快	岩田 梨乃
	松波 耕平	西村 友恵
	村瀬 晃代	東山 奈由
	津田 真佑	馬淵 佳恋

○メインテーマの設定

町長さんの話から…

北方町の人口減少を止めるには？

自分たちの興味がある分野から考えよう

グループ内で興味のある分野は…

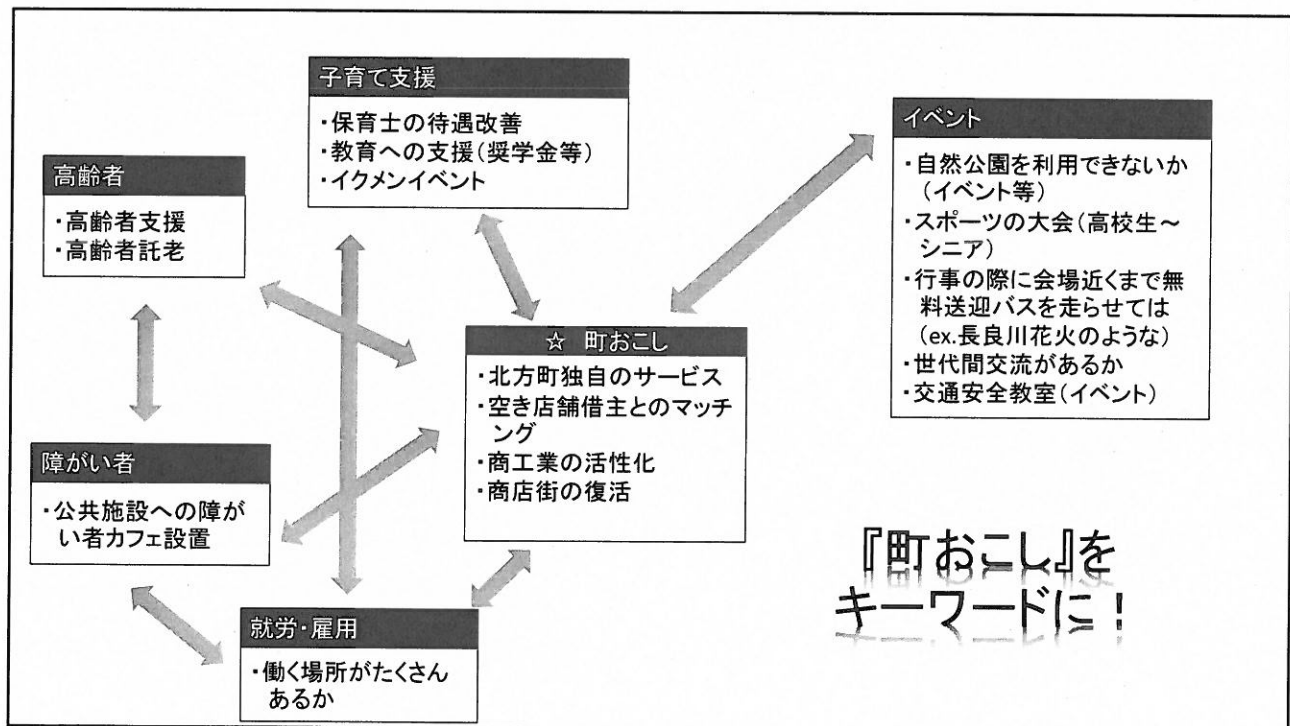
- ・子育てについて
- ・環境について(住環境から生活環境への広義)
- ・住みよいまちとは何か



最初に北方町をみて率直に思ったことや疑問点を洗い出し



ブレインストーミングで整理してみよう



これを踏まえて行ってきた協議日程

- 7/16 自分が思う住みよいまちについて
- 8/ 2 町おこしの掘り下げ
- 9/ 8 商店街に関するアンケート調査について
教育資源を活用した町おこしについて
- 10/18 アンケート結果について

○自分が思う住みよいまちについて

季節に合わせた対策やサービス
高校生まで医療費無料
介護や保育、福祉の充実
若者が参加できる行事や世代間交流
都会と田舎の中間が一番住みやすい
家から近くに施設がそろっている

○町おこしの掘り下げ

～どんなイベントが考えられるか？～

子と親双方が得をする教室の開催

アウトドア体験やビアガーデン

高齢者が昔の遊びを教える会

子供から大人までが参加できるスタンプラリー など

～活性化策として考えられること～

未来の社長応援事業

空地や空家を活用し、補助金を受けて起業

空き店舗を活用したBARの実施

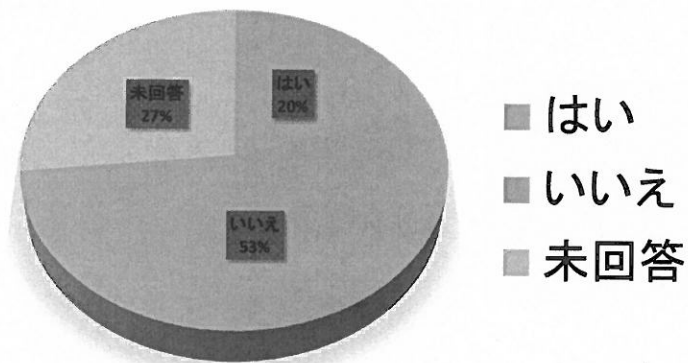


議論をしていく上で…

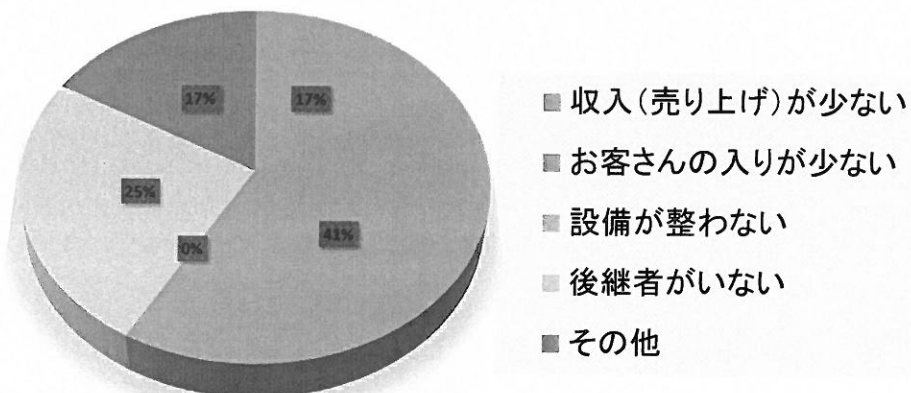
商店街活性化の提案を、商店街の人たちが受け入れるか？
アンケートを実施して意向確認やモチベーションなど実態を
調査したい

○商店街のアンケート調査結果

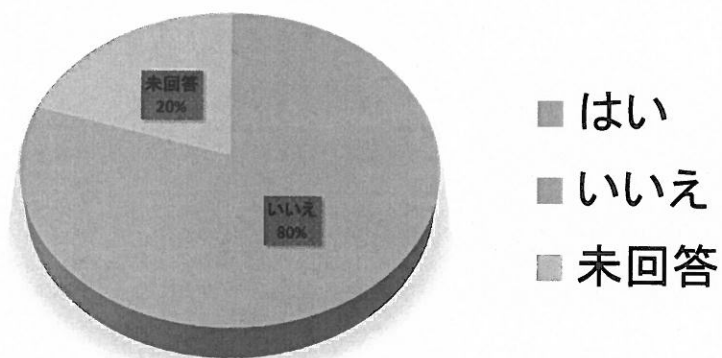
質問1 あなたはお店の現状に満足されていますか



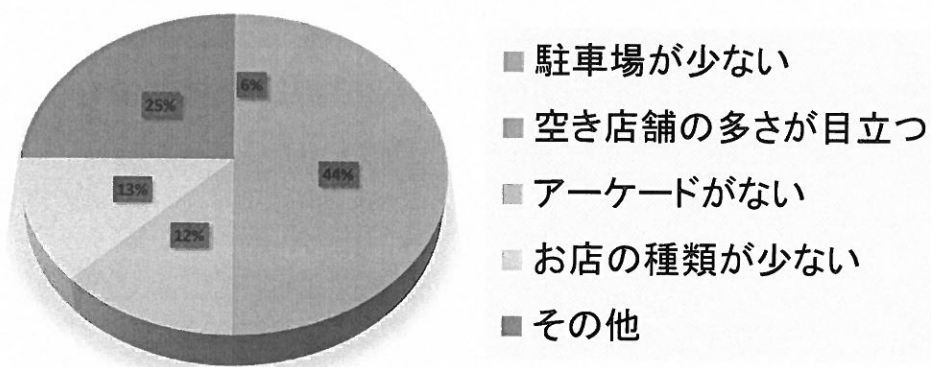
質問1-1 現状に不満を覚える理由はどうなのがありますか



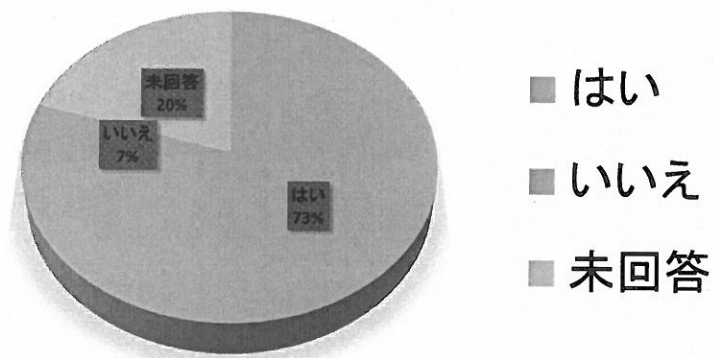
質問2 あなたは商店街の現状に満足されていますか



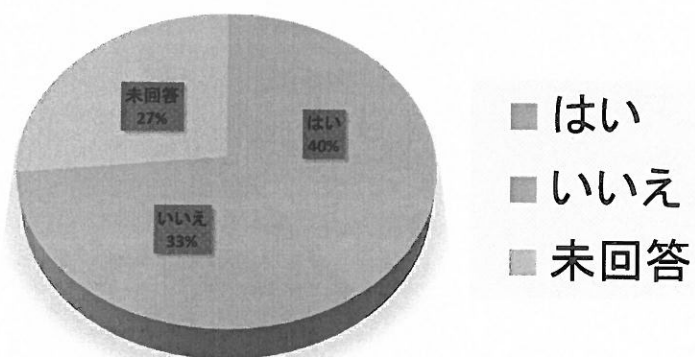
質問2-1 現状に不満を覚える理由は何のようなものがありますか



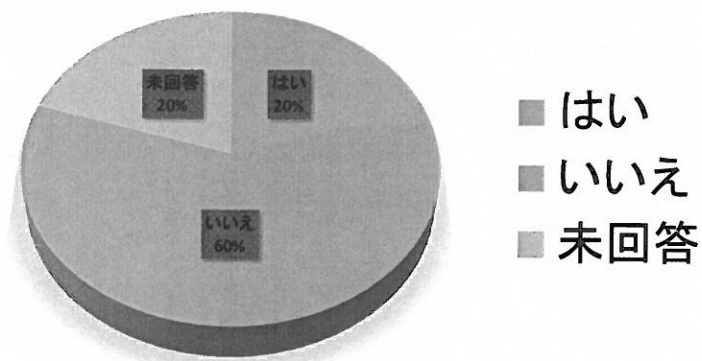
質問3 町おこしのために商店街を
使うことをどう考えますか



質問4 町おこしにご自分のお店を
使うことをどう考えますか



質問5 お店をやっていくために経営資金(行政からの補助金など)が必要ですか



質問6 ご自由にご意見をお書きください

ムダ

バスもなく活気がない

商店街のつくりが昭和仕様のため車で来にくい

高齢化による後継者不足

客層が変わり、お店の形態も変わっている

などなど..

○アンケート調査結果から…

商店街を使うことは賛成でも、自分の店を使うことには反対
業種によって町おこしとして使えない

後継者問題

町の補助金＝借金イメージ

閉店を検討しており、投資リスクを負えない

○商店街の構成上の問題…

道幅が狭く、車で来店しにくい

商店街の駐車場不足

生活道路で交通量が多く、路駐もあり危険

住宅兼用型店舗のため他人への貸し出しの際にネックに

商店街発展の歴史的経緯から意識改革が困難

毎月21日の青空マーケットへの客の入りは減少傾向

イベントの名称を変えるのは目先を変えるという意味で有効

○教育資源を活用した町おこし

子育て世代の親に趣味の講座を開設

教室や体育館など教育資源の活用

⇒体操教室や体験教室の開催

アフタースクールの充実

⇒企業委託の検討

先生や講師をボランティアで募集

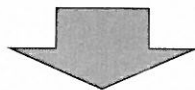
定期開催(不定期でなく)

大人と子どもが一緒に参加できるイベント

○今後の展望

商店街活用方法の検討

移住定住促進についての検討



魅力のあるまちへ



ご清聴ありがとうございました。